

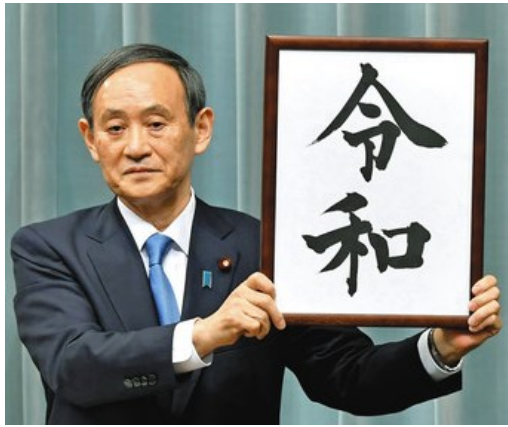


あなたのワン・プロジェクトを、明るく楽しくサポートします！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター

Ver.4 第50号

新しい時代の幕開け！



今日から**新元号「令和」がスタート**します。皆さん、令和はどんな時代になると思いますか。そして、令和という時代において、どんなことをやろうと考えていますか。

有識者や知識人と呼ばれる方々が、令和の見通しを予言者のように語っていますね(笑)。質問されれば答えるのがお仕事なので、何を語っても構いませんが、他人の言うことを気にしないことが大事です。

一人一人が令和という時代に係っています。自分自身は小さな存在かもしれませんが、**自分の出来る範囲で時代に貢献していくこと**が大事なかと。そう大きなことではなくて、小さなことでも良いのです。できれば明るく楽しく面白く拘わっていければ、最高でしょうね。

ちなみにニュースレターは**50号を迎えることができました**。これも読者の皆さんの応援のおかげです(笑)。誠にありがとうございます！次は100号を目指してコツコツ発行していきます。100号を達成したら、ホテルで記念セミナーでもやろうかなと妄想しています～(笑)。

受験結果が判明しました。結果は・・・



49号で発表しましたメンタルヘルス・マネジメント検定の合否結果が判明しました。70点以上が合格ですが、**Ⅱ種とⅢ種、ともに「合格」しておりました**。ニュースレターで受験したことを発表しましたので、正直なところ合格してホッとしています。本当に、幾つになっても合格というのは嬉しいものですね！

合格証はカード型ですね。A4サイズの合格証も存在しますが、発行費用が掛かるみたいです。僕はこの合格証で十分です。添付書類には点数を記載したペーパーもありました。それを見るとⅡ種が88点、Ⅲ種が98点でした。Ⅱ種の解答を見直した時、3問ほど答えを書き直しました。そのままであれば、3問とも正解だったので6点加算で94点。まあ～今さら言っても仕方ありませんが～(苦笑)。

さて、この検定にはⅠ種というカテゴリーがあります。次の試験は11月です。「奥村さん、Ⅰ種受験するの？」と聞かれたら、「当面は保留します」と答えます。Ⅱ種とⅢ種は、4つの選択肢から1つの答を選んでマークシートを塗りつぶす形式なので、2か月の勉強で対応することができました。Ⅰ種はマークシート形式だけではなく、論述形式もあります。合格を目指すには論述対策をする必要がありますが、そこまで時間を掛けることはできません。ですから保留します。受験すると決めた時には、ニュースレターでお知らせしますので！

「思考の整理学」を読みました！



今回は、「**思考の生理学**（筑摩書房、¥562、外山滋比古著）」をご紹介します。帯を見ると、東大・京大の生協で時代を問わず売れているみたいです。実は昨年12月23日、BS朝日に出ていた著者のインタビューを見ていました。インタビューの内容に興味があれば、以下のURLにアクセスしてご覧ください。

https://www.bs-asahi.co.jp/sunday_scoop/interview/05/

95歳という年齢を聞いて驚きましたが、話すスピードも速く、論旨展開もぶれていません。「思考の整理学」という本を書くだけのことにはあるなあ〜と納得しました。インタビューは若くてキレイな女性アナウンサーだったので、著者も楽しんでいましたね(笑)。

完読後、**大学のゼミの恩師と久々にお会いしてコミュニケーションしたような印象を持ちました**。30年以上前に書かれていますので、文章表現が今風ではなくて、少し古さを感じます。だからといって内容を毀損するものではありません。年齢を重ねた恩師が「君も元気そうだね」と、微笑んでいるように感じました！

既知の内容が多かったのですが、この本を大学時代に読んでいたら衝撃を受けたと思います。僕も年齢を重ねているので、知らないうちに本に書いていることを習得していたのでしょうか。ただ、P210の「コンピューター」というタイトルの内容、これからの人間の有り方を示すことが書かれています。一部を抜粋すると…

ところが、ここ数十年来、しだいに大きく、記憶と再生の人的価値がゆらぎ始めた。コンピューターという機械が出現したからである。コンピューターがその名の示すように計算をするだけなら、それほど、おどろくこともない。コンピューターは計算機の殻を脱皮すると、すこしずつだが人間頭脳の働きに近づき出した。

そのうちで、すでに確立しているのが、記憶と再生の機能である。これまで人間にしかできないとばかり思われていたことを、コンピューターがどんどん、いとも簡単に片付けてしまう。人間なら何十人、何百人もかかるような仕事を一台でこなしてしまうのを目の当り見せつけられて、人間ははじめのうちこそ舌を巻いて感嘆していられた。

やがて、感心ばかりもしていられなくなり出したのである。人間とは、なんなのか、という反省がすこしずつ芽生えてきた。われわれは、これまでいっしょうけんめいに勉強して、コンピューターのようになることを目指していたのであろうか。しかも、記憶、再生とも、人間は、とてもコンピューターにかなわない。

この本の第一刷は1986年です。まだ、汎用機がメインであり、デスクトップパソコンとしてはNECのPC98シリーズが使われていました。この時は、コンピューターにデータを入力するオペレーターとしての役割が、人間にはありました。ただ、現在の状況は大きく変化しています。上記の「コンピューター」を「AI」に置き換えてみてください。人間の機能の代替は、われわれには見えない形で急速に進んでいます。それに関してどうあるべきか。時代を超えて、著者は鋭い見解を示しています。連休中に読んでみることをお勧めします！

オクムラ経営コンサルティングオフィス ニュースレター編集部
〒540-0034 大阪市中央区島町2丁目2番3号 サハム天満橋 402
TEL06-6920-3191 Email: info@1project-support.com
FAX06-6920-3192 Copyright 2019 オクムラ経営コンサルティングオフィス all rights reserved

発行人 奥村政治
発行日 2019年5月1日

<http://www.1project-support.com>